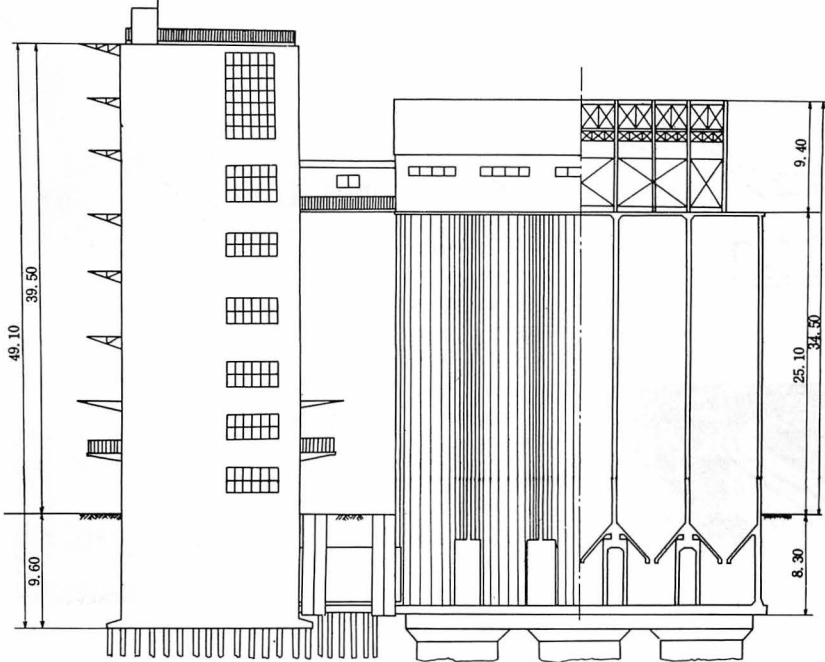
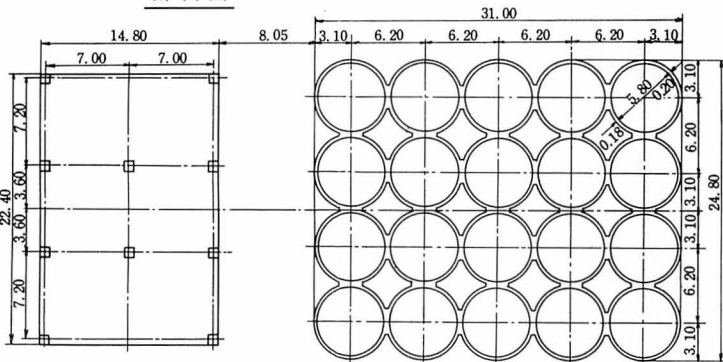


2. 安治川サイロ一般図 (本文前ページ)

正面図



断面図



の線。山陰本線に属し線路等級は丙線である。明治35・11米子と境港を結ぶ鉄道として同区間建設、境線と呼ぶこととした。

(森 梯寿)

さがせん 佐賀線 長崎本線佐賀駅から、東南方へ進み、筑後大川、筑後柳河等を経て、鹿児島本線瀬高町駅に至る24.0kmの線。長崎線に属し線路等級は丙線である。長崎本線佐賀と鹿児島本線瀬高町間を短絡する鉄道として、昭和6・9瀬高町・筑後柳河間開通佐賀線と呼称、昭和8・6筑後柳河・筑後大川間開通、昭和10・5佐賀まで全通したも



のである。(森 梯寿)

さがのせきせん 佐賀関線 大分県佐賀関から豊肥線中判田駅に至る国鉄自動車路線であって、所管する自動車営業所は大分県白杵市(白杵)に、同支所は同県北海部郡神崎村(幸崎)にある。

- 1 区間キロ程および沿革
佐賀関本線 幸崎・佐賀関
10 km 昭 8・3・23 開業
古宮・下浦
1 昭 27・9・15
坂ノ市線 本幸崎・中判田
24 昭 25・11・1
坂ノ市・豊後大河内
5 昭 28・2・1
- 2 営業範囲 旅客・手小荷物および貨物の取扱をしている。
- 3 使命 佐賀関・幸崎間は鉄道敷設法の前定線に該当し、鉄道の代行路線である。
- 4 特長 本線は幸崎から佐賀関半島の先端佐賀関を結ぶ路線で交通量も多く、沿線は水産物および蜜柑の産出が多い。また佐賀関には有名な日本鋳業佐賀関製錬所がある。(松沢信之)

さがみせん 相模線 東海道本線茅ヶ崎駅から横浜線橋本駅に至る33.3kmの線。ほかに寒川・西寒川間の貨物枝線を含む。東海道線に属し線路等級は丙線である。大正9・7茅ヶ崎・西寒川間、昭和6・4寒川・橋本間がそれぞれ相模鉄道株式会社によって建設されたが、昭和19・6政府に買収され相模線と改められたものである。この線は最初砂利輸送を主たる目的としていたが、沿線の発展に伴って客貨も増加し、最近気動車が配属され、蒸気列車と併用されて

いる。(森 梯寿)

さがみてつどう 相模鉄道

1 事業者の概要

名称 相模鉄道株式会社、本社 神奈川県横浜市西区高島通、資本金24,000万円、おもな事業 地方鉄道業のほか一般乗合旅客自動車運送事業路線96kmおよび砂利採取販売業、石油製品販売業。鉄道従業員528人、保有車両電気機関車3、電動客車33、客車17、貨車81両。

沿革 大正6・12資本金60万円の相模鉄道株式会社を設立し、同10・9茅ヶ崎・寒川間の営業を開始した。昭和18・4神中鉄道株式会社(厚木・横浜間)を合併、同19・6には茅ヶ崎・橋本間および寒川・四の宮間が政府に買収された(四の宮は買収と同時に西寒川と改称した)。昭和20・6横浜・海老名間の鉄道営業管理を東京急行電鉄に委託したが、同22・5委託を解除し現在に至る。

2 地方鉄道線 神奈川県下において東海道本線横浜駅に連